

**梓川の河原の植物調査と森の粘菌調査を行いました。**

2012年8月10日～13日、3泊4日、参加生徒1名、教員1名

場所：長野県松本市安曇上高地 宿泊：徳沢園(井上靖の氷壁の宿として有名)

上高地は、穂高を目の前に控えた清流の流れる静かな谷です。標高は1500～1600m、夏には避暑や登山で多くの方が訪れ、訪問者は年間150万人にもなります。地形的には氷河地形であるU字谷を形成し、その底部は槍ヶ岳を源流とする梓川が流れます。一帯の自然は特別保護地域として保護されています。



穂高



梓川



植生調査

**1. 花咲く植物との出会い 8月12日**



ミヤマナデシコ



ソバナ



トリカブト

**2. ケショウヤナギ調査 8月12日 上高地でしか見られない植物調査**



ケショウヤナギだけの河原



葉緑素量の測定

ケショウヤナギは、氷河時代の生き残り生物です。なぜ上高地の梓川の河原にしか分布しないのか不思議です。光合成に必要な葉緑素量を調べてみると、周りにある他の植物よりも高い値を示しました。

**3. 森の微生物 8月11日**

科学部では、寒冷な上高地の自然を、森で生活するキノコや粘菌でも調べようとしています。温暖化にともなって上高地の自然が変化してしまうことも否定できません。科学部で、自然の調査活動をしてみませんか。



マンネンタケ



マメホコリ